

先端研究施設共用促進事業
利用成果報告書

利用形態： 有償利用
課題番号： 130124-01

利用課題名： 陽極酸化チタンの酸化膜の厚さ測定
利用者名： 中京大学

利用施設： 名古屋工業大学 大型設備基盤センター
利用装置： FE-SEM
利用期間： H25. 1. 24～H25. 3. 13

背景と利用目的：

陽極酸化させたチタンがどのくらいの光触媒活性効果を持つかを検討した。陽極酸化膜の厚さが光触媒活性効果に影響するかを調べるために SEM による断面観察を行う。

実験・解析方法：

試料を折り曲げ、膜の断面が見ることができるようにして観察を行った。

成果の概要：

膜の厚さが測定でき、今後の研究に役立つ結果が得られた。

社会、経済への波及効果の見通し：

本成果は、陽極酸化チタン材料の開発において試料の特徴を知るために非常に有益なものとなった。この成果は、将来、新たな複合材料の作製に役立ち、医療、環境、生活面に応用できると考えられる。

論文発表状況・特許出願： なし

参考文献： なし

成果公開延期の希望の有無： なし

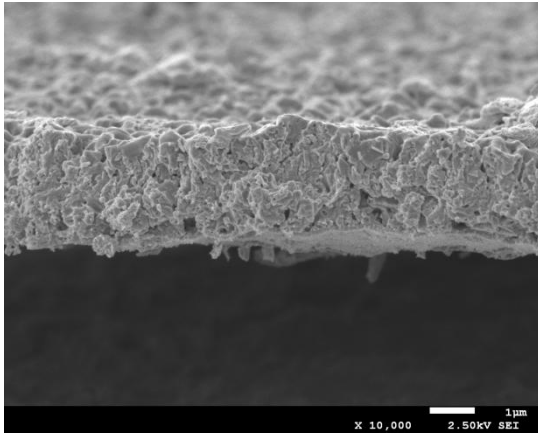


図1 陽極酸化チタンの断面

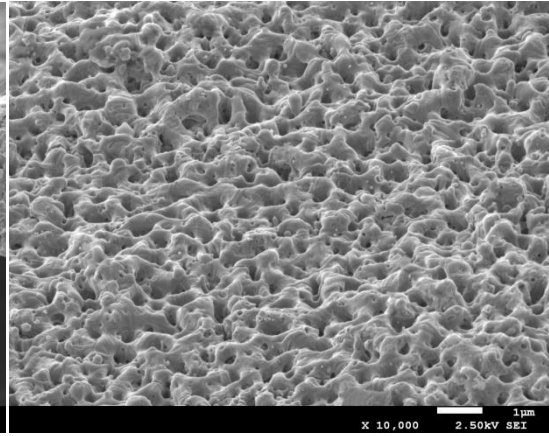


図2 陽極酸化チタンの表面